

総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会 自動車判断基準ワーキンググループ（第2回）-議事要旨

日時：平成27年8月28日（金曜日）13時30分～15時10分

場所：経済産業省別館8階850各省庁共用会議室

出席者

委員

大聖座長兼委員長、青山委員、石井委員、草鹿委員、塩路委員、竹岡委員、近久委員、永井委員、松村委員

オブザーバー

土井オブザーバー代理（稲垣オブザーバー）、荻原オブザーバー、神岡オブザーバー、高橋オブザーバー、播磨オブザーバー

事務局

経済産業省 辻本省エネルギー対策課長、町田省エネルギー対策課長補佐、田中自動車課長補佐

国土交通省 西本環境政策課長、大橋環境政策課次世代自動車推進官、高井環境政策課自動車使用適正化対策官（※「高」は「はしごだか」）、升井環境政策課係長

議題

- 達成判定方式について（案）
- WLTP燃費試験における車両のクラス分け及び適用されるサイクルについて（案）
- 表示事項等について（案）
- コンバインドアプローチ（補間法）について（案）
- 取りまとめ（案）
- その他

議事概要

議題(1)～(5)について事務局から説明を行った。また、燃費試験におけるWLTPの導入の方針として資料1～5が了承された。なお、主な質問・意見は以下のとおり。

WLTP燃費試験における車両のクラス分け及び適用されるサイクルについて（案）

- 例として挙げられた車両について、Class1及びClass2に比べてClass3bの燃費値が厳しくなることが示されている点に関連し他の車両における燃費値の傾向や、世界統一技術規則（GTR）上Class2に該当する車両の日本における割合について質問があった。

コンバインドアプローチ（補間法）について（案）

- 燃料消費量と走行に必要なエネルギーの関係が一定とみなせる車両のグループである同一ファミリー内における最も良い燃費値と最も悪い燃費値の車両の燃費試験実施後に、同一ファミリーの要件にあてはまる、より燃費値の良い車両やより燃費値の悪い車両が出てきた場合の考え方について質問があった。

取りまとめ（案）

取りまとめ（案）については、概ね了承を得た。今後、座長兼委員長一任の下で、取りまとめ（案）における書きぶりの修正を行い、パブリックコメント等の手続きを経て最終とりまとめ（案）を作成することとなった。

- 政府の取り組みのうち、「WLTP燃費試験の下での燃費性能、燃費改善技術の導入見通し等を踏まえて燃費基準を策定する」における「燃費基準の策定」の意味、排出ガス試験にWLTPが導入されWLTP燃費値がJC08燃費値より良い値となる可能性について質問があった。

関連リンク

[自動車判断基準ワーキンググループの開催状況](#)

お問合せ先

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー対策課

最終更新日：2014年9月4日